

就労選択支援事業所の申請調査

1	法人名称	社会福祉法人大森福祉会			
2	就労選択支援事業所の名称	就労選択支援大森授産所			
3	就労選択支援事業所の所在地の状況	☒ 実施主体となる事業所と同一場所（所在地：名古屋守山区元郷一丁目912番地） ☐ 実施主体となる事業所とは別の場所（所在地： ）			
4	実施主体となる事業所の名称	大森授産所			
5	実施主体事業所のサービス種類（該当に✓）	☒ 就労移行支援 ☐ 就労継続支援A型 ☐ 就労継続支援B型 ☐ その他（ ）			
6	実施主体の事業実施状況	就労移行支援の場合	前年度の就労定着率が4割以上であること （市内事業所の概ね6割が該当）	☒ 該当 ☐ 非該当	
		就労継続支援A型の場合	前年度の評価点が130点以上（市内事業所の概ね6割が該当）、かつ、スコア表の生産活動の項目が50点以上（50点未満は基準違反）であること	☐ 該当 ☒ 非該当	
		就労継続支援B型の場合	前年度の平均工賃月額が2万円以上であること （市内事業所の概ね6割が該当）	☐ 該当 ☒ 非該当	
7	当法人において就労選択支援事業を実施する目的や理念	「できることなら、就職して働き続けて欲しい」多くの保護者のみなさんが、そのようにお考えになっていることでしょう。ではそれが実現できるかと聞かれると、自信をもって「できる」と答えられる人は決して多くないと思います。無理とあきらめている方や、どうすれば就職できるかわからない方、就職後に問題がおきないか心配な方など、不安が尽きないと思います。あなたのお子さまにも得意なことがあるはずです。それを伸ばしましょう。それが就労に向けた器の形成につながります。			
8	就労アセスメント環境	就労アセスメントの作業場面の確保状況（以下のうち、5項目以上に対応できること）	自己の就労選択支援事業所で実施可能 【該当する場合は○を記入】	近隣の協力事業所（他の障害福祉サービス事業所等関係機関・一般企業等）で実施可能 【実施する事業所の所在地及び名称を記入】	確保できない（適切な就労選択支援の提供ができない）場合の対応方法（適当な他の就労選択支援事業所の紹介その他の対応を記入）
		事務作業（伝票仕分け、記録、あて名書きなど）	○	書類管理、シュレッター作業 大森授産所での事務所にてシュレッター作業を取り組む。	
		PC作業（入力作業、画像の編集など）	○	ワード、エクセルの初級 履歴書の作成 大森授産所事務所	
		軽作業（箱折り、袋詰め、部組立てなど）	○	大森授産所の就労継続支援B型での作業訓練	
		縫製、手芸品等の制作、販売			守山作業所紹介 名古屋守山区城土町338 たかぎ作業所紹介 長久手市下河原町4番の5
		クッキーなど食品の製造、販売			守山作業所紹介 名古屋守山区城土町338
		飲食店での調理、接客	○	レストランを想定として、仕出し弁当等の配膳、及びテーブル拭きなど、大森授産所で行うことができる。	
		清掃作業	○	療校内清掃、公園愛護会活動 大森橋緑地第二公園愛護会（大森授産所内）	
		農作業		エスプール農園の見学及び体験 春日井、小牧、長久手農園など	
		就労選択支援が用いる予定のアセスメント手法、アセスメントシート、マニュアルの整備状況	就労系障害福祉サービスにおける職業的アセスメントハンドブック 改訂版・就労移行支援事業所による就労アセスメント実施マニュアル 執筆・研究代表者 秋田大学 教育文化学部 前原和明氏を参考としている。 アセスメント表は過去使用したものを活用する。		（注）準備しているアセスメントの概要を左に記入するとともに、必要に応じて参考資料を添付してください。
		実施主体が過去に実施した就労アセスメントの実績	就労移行支援でのB型アセスメントの件数であるが、R7年2名、R6年1名、R5年5名、R4年1名、R3年5名、R2年2名。6年間で16名行っている。就労アセスメントとして位置付けている。		（注）具体的に内容及び件数を記入してください。
9	地域との連携体制	自立支援連絡協議会との連携	守山区自立支援連絡協議会 地域生活支援部会にて、就労系・日中系事業所交流会に参加。 モリナビ就労フェア in もりやま に参加 ハートフル部会 はばたけ! チャレンジ道に参加 相談支援部会に参加		（注）具体的な連携の内容を3項目以上記入してください。
		近隣の障害者雇用を実施する企業等との連携	大喜利商事株式会社にてピッキング作業に従事。昼休み等に就労定着支援を行っている。 春日井、小牧、長久手農園にて就労定着支援を継続中。 名古屋大学等に3年を経過した卒業生の多くが、安定就労している。		（注）具体的な連携先及びその内容を3か所以上記入してください。
10	実施主体が提供するサービスについての第三者評価の実施状況	実施の有無（該当に✓）： ☐ 実施済み ☒ 未実施 ・実施した直近の年月日： ・実施した評価機関の名称： ・評価結果の家事状況（公表の方法）：			
11	情報公表の状況（WAM-NET等への公表状況、財務諸表の公表状況）（該当に✓）	WAM-NETへの公表： ☒ 公表済み ☐ 未公表 法人の財務諸表の公表： ☒ 公表済み ☐ 未公表			
12	特記事項				

※ 上記の調査項目は、地域において就労選択支援に期待される、専門的かつ中立的な役割を果たせるかという観点において重視される項目であることから、指定を受けた際には利用者の事業所選択に資することを目的として、この申請調査をウェルネットなどにおいて公表します。